

バスケットボールの歴史と経済効果

北口 太暉

序

1. 創始
2. 創始当時のルール
3. コート
4. 人数とポジション
5. 日本へのバスケットボールの伝播
6. バスケットボールができたことによる経済効果

結

序

バスケットボールは、これまでどのようにして始まりどのような過程を経て今に至るか、そしてその過程がいかなる経済効果を及ぼしてきたのであろうか。本稿ではこれについての調査を目的とする。

1. 創 始

1891 年 12 月 21 日、アメリカ・マサチューセッツ州スプリングフィールドにある「国際 YMCA トレーニングスクール」のカナダ人 J. ネイスミス教授が創始した。契機となったのは体育主事養成学科科長 L. H. ギューリックが 1890 年にネイスミス教授に与えた次のようなヒントであった。「本校で学んだ若い体育主事候補生の連中が来年の春季種目を再開できるように心身ともに良いコンディションを維持できるように何か考えだしてもらいたいのだ。」というものがバスケットボール誕生のきっかけである。

2. 創始当時のルール

- ・ボールはサッカーボールを使用し、片手あるいは両手で、どの方向へパスしてもよい。
- ・ボールは片手、あるいは両手でどの方向に叩いてもよい。ただしこぶしでたたくのは禁止する。
- ・競技時間は 15 分ハーフ制とし、5 分のハーフタイムを置く。などである。

3. コート

面積：11m×14m

ゴールの高さ：体育館につけられる目一杯の高さ(3m05 c m)

ゴールの素材：桃を入れる籠

4. 人数とポジション

9 人対 9 人で次のようなポジションで構成されている。

BASKET（敵陣）

(Forward)	L. wing	Home	R. wing
(Center)		L. Center	Center
R. Center			
(Guard)	L. Guard	Guard	R. Guard

BASKET（自陣）

5. バスケットボールの発展

アメリカ人以外で、バスケットボールを一番初めにプレーしたのはカナダ人といわれている。これはネイスミスが行った最初のゲームに 4 人のカナダ人留学生がいたことが分かっているためである。その後、大きな競技場で行われる冬季プロスポーツで人気があったのはアイスホッケーだったがチームが本拠地を離れているときは、閉鎖状態も同然だったという。そこで、競技場の経営者とアイスホッケーチームのオーナーたちは競技場を閉めておく

のはもったいないと考えはじめ BAA(Basketball Association of America)が発足したのである。1898 年(明治 31 年)にはアメリカでいろんなチームが集まった「ナショナル・バスケットボール・リーグ(NBL)」が結成されプロリーグとしての活動をスタートした。また、ほぼ同時期に「ナショナル・リーグ・ニューヨーク」や「インターステイツ・リーグ」「アメリカン・リーグ」などが誕生した。そしてその後、現在における NBA が結成された後、1967 年に NBA に対抗して ABA(American basketball association)というプロリーグが発足した。ABA は NBA に観客動員数で対抗するため女性プレーヤーを採用し、ゲームに出場させてみようというアイデアを生み出した。この女性プレーヤーは競馬界における全米史上初の公認騎手でもあり 161cm、51kg というきゃしゃな女性であったが ABA でプレーした唯一の女性である。1975~76 シーズンが終わってからは ABA が消滅しこれ以降は NBA 単独の時代に移っていくのである。

6. 日本へのバスケットボールの伝播

明治 41 年(1908) スプリングフィールドカレッジを卒業した大森兵蔵によって、我が国に紹介された。大正 3 年にアメリカ人 F.H ブラウンが来日し、YMCA を視察してバスケットボールを紹介するとともに組織づくりも行った。大正 15 年には学校体育教授要目に採用され、学校体育の教材として使われるようになり競技も普及していった。1995 年に実業団リーグしかなかった日本も日本でプロリーグを作るといふ動きをみせるがスポンサーが少ないバスケットボールだけで採算を成り立たせるのは非常に難しいものだった。JBA は同じ年に JBL を設立し 2001 年にはプロ化したチームと実業団チームが競い合うリーグを発足することになる。2006 年にバスケットボールの世界選手権が日本で行われたが、その時日本は億単位の赤字を出したが当時の責任者が辞職した。そこから

日本バスケット界は対策として2015年にJPBLを立ち上げたのである。

7. バスケットボールができたことによる経済効果

例えば、NBA である。試合の際スタジアムに人が集まることによりチケット代やグッズ購入などがあげられる。他にも「エアー」と呼ばれ、バスケットボール史上最高のプレーヤーと称されることもあるマイケル・ジョーダン。彼は商業においてもかなりの成功者である。1998年の時点では、大手ビジネス誌である Fortune 誌は、ジョーダンがプロのバスケットボール選手になってから100 億ドルの経済効果をあげたと書いた。バスケットボールだけでなく、ナイキ、マクドナルド、コカ・コーラなどの会社とのスポンサー契約が大きいと言える。特に「エア・ジョーダン」が売れたことによるものが大きい。

結

バスケットボールのはじまりについて調査した結果、世界各国で愛されているスポーツがいまあるのは先人たちの試行錯誤や日本人が海外に行き広めたことがきっかけということがわかった。さらに観戦者の消費を刺激することで観戦者支出を高めることが経済に大きな影響を与えるのである。また、選手のグッズやスポンサーなどによる経済効果も大きいものと言える。

【参考文献】

森山恭行「バスケットボールの歴史」〈<http://www.matsue-ct.jp/home/y-mori/history.html>〉2018年8月7日アクセス。

スポランド「バスケットボールの歴史」〈http://www.homemate-research-gym.com/useful/19653_gym_003/〉。2018年10月31日アクセス。

水谷豊「バスケットボール・ザ・ワールド・ニュース」叢文社、2004年。